

専門分野 看護の統合と実践	科目名：看護管理	講師：看護管理者	1 単位 15 時間 (3 年次前期)
学習目標	1. 看護の質を保証するためのマネジメントの基礎について理解する。 2. 看護管理の目的と機能について理解する。 3. 組織の一員としての看護師の役割や行動を理解する。		
回数	主題	主な学習内容	講義形態
1	1. 看護管理とは	1. 管理の概念 2. 看護師の仕事とその管理	講義
2	2. 看護ケアの マネジメント	1. 看護ケアのマネジメントと看護職の機能 2. チーム医療と多職種連携 3. 看護業務の実践	講義
3			講義
4	3. 看護サービスの マネジメント	1. 組織目的達成のマネジメント 2. 看護サービス提供の仕組みづくり 3. 人材マネジメント 4. 組織におけるリスクマネジメント 5. サービスの評価	講義
5			講義
6			講義
7	4. 看護職のキャリア アマネジメント	1. 看護職のキャリア形成	講義
8	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点	1. 常に持参のテキストは「看護管理」 他は必要時指示 2. 配付資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示		
1) テキスト 2) 参考書	1) 系統看護学講座 看護の統合と実践 [1] 看護管理 医学書院		
評価方法	筆記試験		

専門分野 看護の統合と実践	科目名：医療安全	講師： 医療安全係長（看護師） 感染管理認定看護師	1 単位 30 時間 (3 年次後期)
学習目標	1. 医療安全における安全管理の必要性を理解する。 2. 安全管理の方法を理解する。 3. 感染予防対策及び標準予防を理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 安全管理とは	1. 安全管理上のシステム (システム上の問題、システム要員の改善) 1) 組織的な医療安全管理の土台 2) 組織的な医療安全管理体制の概要 3) 事故防止の具体例 (システム改善の例)	講義
2		2. 安全管理上のプロセス 1) 事故の構造 2) 看護事故防止の考え方 (してはならないことはしない)	講義
3		3. リスクマネジメント 1) リスク識別、リスク評価、リスク対応、リスク費用算定 識別の 4 段階 (内服薬、注射・輸血、栄養、 チューブ・ライン管理、転倒・転落、アレルギー)	講義
4 5 6	2. 事故予防対策	1. 診療の補助の事故防止 1) 注射業務と事故防止 2) 注射業務に用いる機器での事故防止 3) 輸血業務と事故防止 4) 内服薬業務と事故防止 5) 経管栄養業務と事故防止 6) チューブ管理と事故防止 2. 危険の予測・評価 3. 被害拡大の防止	講義
		1. 間違い防止 1) 療養上の世話の事故防止 (1) 転倒・転落事故防止 (2) 摂食中の窒息・誤嚥事故防止 (3) 異食事故防止 (4) 入浴中の事故防止 2) ImSAFER 2. 危険の予測・評価 3. 被害拡大の防止	講義
7	3. 事故予防対策	1. 危険予知トレーニング	講義
8		1. 事故防止 (演習) 事例検討	講義
9		1. 事故防止 (演習) 事例検討	講義
10	4. 感染予防対策	1. CDC ガイドライン 2. スタンダードプリコーション	講義
11		3. 感染経路別予防策 (接触感染、飛沫感染、空気感染)	講義
12		4. 院内の感染防止対策 抗がん剤の被ばく、放射線被ばく、血液・体液暴露	講義

13	5. 防災対策	1. 災害時初動体制	講義
14		1. 災害対応マニュアル	講義
15	終講試験	筆記試験 45分	講義
履修上の留意点		1. 常にテキストは「医療安全」 2. 配布資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 看護の統合と実践〔2〕 医療安全 医学書院	
評価方法		1. 筆記試験	

専門分野 看護の統合と実践	科目名：国際・災害看護	講師： 外部講師（看護師）	1 単位 30 時間 (3 年次前後期)
学習目標	1. 国際看護における看護の役割を理解する。 2. 看護職としての諸外国との協力のあり方を理解する。 3. 国際社会における医療福祉の現状を理解する。 4. 災害の定義および災害医療の概要を理解する。 5. 災害サイクルにおける保健医療ニーズや活動の場に応じた看護を理解する。 6. 我が国における災害対策と災害救助活動を通して、国際協力の必要性を理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 看護における国際化異文化を考慮した看護	1) 看護の対象者の国際化 2) 求められる看護者の能力 3) 異文化の理解と看護 4) 異文化への適応	講義
2	2. 国際看護とは国際看護の対象	1) 世界の健康問題の現状 2) 国際看護の概念・目的 3) グローバルヘルス 4) 国際看護の枠組み 5) 在日外国人への看護活動	講義
3	3. 国際看護活動の現状	1) 国際機関と保健医療の関わり 2) 国際看護活動の実際 3) 国際看護活動の課題	講義
4	4. 災害医療と災害看護	1) 災害が健康や生活に与える影響 2) 災害看護の実際	講義
5			
6			
7			
8		3) 災害時に必要な看護技術 (1) 災害の現場の特徴について	講義
10		3) 災害時に必要な看護技術 (2) 実技：気道確保、止血	演習
11		3) 災害時に必要な看護技術 (3) 実技：固定・搬送の実技訓練	演習
12	3) 災害時に必要な看護技術 (4) 実技：トリアージタッグの記載の実際 (5) 実技：トリアージ・処置・搬送	演習	
13			
14	5. 我が国における災害対策	1) 我が国の災害対策の実際	講義
15	終講試験	筆記試験 45 分	試験
履修上の留意点		1. 配布資料は全て持参 2. 学習形態はその都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 新体系看護全書 看護の統合と実践③ 国際看護学 メヂカルフレンド社 2) 看護学テキスト N i C E 災害看護 南江堂	
評価方法		1. 筆記試験	

専門分野 看護の統合と実践		科目名：臨床看護技術演習	講師：専任教員	1単位 30時間 (3年次前期)
学習目標		1. 複合的な条件の事例を予測性・個別性をもってアセスメントし、実践できる能力を習得する。 2. 卒業時の技術到達度をふまえて、自己の看護技術の達成状況と課題を明確にする。		
回数	主題	主な学習内容		講義形態
1	1. 複合事例の症状のアセスメント	1. 臨床推論の展開 1) 起きている事実の状況把握と状況判断 2) どのような看護を実践するか行動の具体化		講義 G.W.
2				
3				
4	2. 複合事例の症状のアセスメント	1. 優先度の決定 1) 緊急性・優先順位を考えた判断と安全・安楽な対応 2) 看護業務中断時の患者対応		講義 G.W.
5				
6	3. アセスメントに基づく看護の実施と複合した治療処置の必要な患者への援助の実践	1. 事例患者の看護計画立案 ・糖尿病と大腿骨頸部骨折の患者の看護計画		講義 演習
7		2. シミュレーション ・事例患者の看護計画に基づいた演習		
8				
9	4. 複数患者受け持ち時の援助の優先度の決定とタイムマネジメント	1. 事例による演習		演習
10		1. 事例による演習		
11		1. 事例による演習		
12		1. 事例による演習		
13	5. 看護チームの一員としてのメンバーシップ行動	1. メンバーシップとは 1) 実習の経験を踏まえたディスカッション 2. 実習・演習を振り返っての自己の課題		講義 G.W.
14				
15	終講試験			試験
履修上の留意点		1. 課題（その都度提示）は授業に参加するために必要な知識になるので、各自自己学習して授業に臨むこと 2. テキストと配布資料は熟読・活用する 3. 授業内容に応じ適宜授業形態を指示する		
1) テキスト 2) 参考書		2) 系統看護学講座 看護の統合と実践1 看護管理 医学書院 2) 系統看護学講座 看護の統合と実践2 医療安全 医学書院 2) 系統看護学講座 専門分野I 基礎看護学4 臨床看護総論 医学書院 2) 看護の基本的責務 定義・概念/基本法/倫理 日本看護協会出版会		
評価方法		1. レポート 2. グループワーク 技術確認		